

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名 ワイドバンドレシーバー <b>RT-750V</b>	
●保証期間 ※お買い上げ年月日 年 月 日から <b>1年間</b>	
※お客様	ご住所 〒  TEL ( ) -
	お名前
※販売店	店名・住所 〒  TEL ( ) -

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

**MARUHAMA**  
0.1~1300MHz  
ワイドバンドレシーバー

# RT-750V

## 取扱説明書



RT-750Vをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱い説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書は、いつもお手元においてその都度ご参照ください。




# 目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	5
3. 主な特長	6
4. 各部の名称とはたらき	7
5. ご使用になる前に	10
6. 操作方法	12
<b>ステップ1</b> 〈簡単受信をしてみましょう〉	12
①受信エリア内をオートサーチする	14
②受信エリア内をマニュアルサーチする	16
<b>ステップ2</b> 〈マニュアル操作にチャレンジしましょう〉	17
①マニュアル入力受信	18
②受信モードの設定	19
③チャンネルステップの設定	20
④ディレイ時間の設定	21
⑤秘話通信（スクランブル）の解読	22
⑥アッテネータの設定	23
<b>ステップ3</b> 〈メモリ登録をしましょう〉	24
①ダイレクトメモリの登録と受信方法	26
②グループ別チャンネルメモリの登録と受信方法	27
③エリアメモリの登録と受信方法	29
④バスメモリの登録	31
⑤メモリの消去	32
<b>ステップ4</b> 〈その他の機能も使ってみましょう〉	35
①プログラム受信	35
②プライオリティ受信	36
③音声ガイド機能	39
④盗聴電波の受信	42
⑤オートスタート機能	43
⑥バックライト点灯機能	43
⑦キートーンON/OFF機能	43
⑧初期化機能	44
7. 登録済み受信エリア	46
8. 故障とお考えになる前に	49
9. 主な仕様	50

# —1. 安全についてのお願いとご注意—





本製品を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについては弊社は一切の責任を負いません。

## ■絵表示の例


-  : △記号は気をつける必要があることを表しています（警告・注意）。
-  : ⊘記号はしてはいけないことを表しています（禁止）。
-  : ❶記号はしなければならないことを表しています（強制）。

## 人身の安全のためにお守りいただくこと




### 使用場所・使用環境

-  ■自動車、自転車など乗り物を運転中に操作しないでください。  
乗り物の運転中に本機を操作することは、交通事故の原因になりますので、絶対に避けてください。
-  ■人ごみの中では使用しないでください。  
アンテナが目などにあたり、けがの原因になります。
-  ■本機に水がかかる可能性のある場所で使用しないでください。  
風呂場では使用しないでください。また、雨天時、海岸、水辺での使用時には水がかからないように十分注意してください。水がかかった場合はすぐにふき取ってください。  
万一内部に水が入った場合は、直ちに本機の電源を切り、ACアダプターを使用中の場合にはコンセントから抜いてください。  
そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。
-  ■雷が鳴り始めたら本機の使用を中断してください。  
雷鳴時に本機に触れますと、感電の原因になります。



### 分解・改造の禁止

-  ■キャビネットは絶対にあけないでください。  
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障、感電の原因になります。

### 電源・電源コードの取り扱い




-  ■定格外の電圧で使用しないでください。  
定格外の電圧を加えますと異常に発熱し、火災や感電の原因になります。
-  ■外部電源を使用する場合は、必ず弊社純正のACアダプター（付属品）をご使用ください。  
他社製アダプターを使用しますと故障の原因となるのみならず、異常に発熱し火災の原因になります。  
また、本機同様ACアダプターの分解や改造は避けてください。
-  ■電源コードを傷つけたり、傷んだ電源コードを使用しないでください。  
電源コードが傷んだまま使用しますと、火災や感電の原因になります。

### 異常検出時の対処





-  ■発熱・発煙・異臭を検出した場合は、直ちに使用を中止してください。
-  これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、乾電池使用時は乾電池を取り外し、ACアダプターを使用中の場合はコンセントから抜いて使用を中止してください。  
そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。  
修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

## けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと




### 使用環境・取り扱い

-  ■衝撃や振動を加えないでください。  
衝撃や振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■テレビ・ラジオなどの電子機器から離れた場所でお使いください。  
強い電磁波を発生する電子機器の近くでは、正常に動作しない可能性があります。
-  ■規程範囲内の温度条件下でお使いください。  
本機は-10℃ ~+60℃ の範囲で動作します。範囲外で使用しますと故障の原因になります。


### 使用環境・取り扱い

-  ■電池を本機に挿入する場合は極性（プラス・マイナスの方向）に注意し指示通りに正しく挿入してください。  
間違えて挿入しますと、乾電池の破裂、液漏れにより、けがまたは故障の原因になります。
-  ■長時間使用しないときは、本機から乾電池を取り外してください。  
長時間本機に乾電池を入れたまま放置しますと、乾電池の液漏れにより故障の原因になります。
-  ■新旧の電池を混ぜて使用しないでください。  
新旧の電池を混ぜて使用すると、電池の劣化を早めるとともに、電池の破裂、液漏れにより、けがまたは故障の原因になります。
-  ■使用済みの電池を普通のゴミと一緒に捨てないでください。  
使用済みの電池は環境保全のため、地域で定められている“電池回収日”に所定の箱に入れるか、あるいは電気店の“電池回収箱”等へ入れてください。





### 保守

-  ■長時間で使用にならない時はACアダプターをコンセントから抜いてください。  
そのまま放置しますと故障の原因になります。
-  ■ケースが汚れた場合は柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
-  シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、キー上の文字が消えたり、ケースが変形する恐れがあります。  
また、お手入れの際は必ず本機の電源を切ってください。

## 法的規制

-  ■電波法を遵守してください。  
電波法第五十九条により、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受しその存在もしくは内容を第三者に漏らしたり窃用することが禁止されています。  
厳重に注意してください。

## 機能上の制約

-  ■日本国内で使用してください。  
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
-  ■音声・雑音とは違う信号音を受信することがあります。  
本機はアナログ通信を対象としており、デジタル通信や制御チャンネル通信また音声反転方式以外の秘話通信を受信することはできません。その場合、雑音とは違う信号音を受信します。
-  ■内部干渉により指定帯域外の電波を受信することがあります。
-  ■使用場所により受信できない場合があります。  
電波の遮断された建物の中、電波の届かない山中、強い電波が発射されている放送局の近辺などでは受信できない場合があります。

## 2. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

●本機	1台
●ロッドアンテナ	1本
●ACアダプター	1個
●取扱説明書兼保証書 (本冊子)	1冊

## 3. 主な特長

### ■高感度・高性能受信機

受信機能をコンパクトボディに集約。ワイドな情報を高感度で受信します。

### ■簡単操作

わかりやすい液晶表示と簡単な操作法により、豊富な機能も容易にご使用いただけます。

### ■音声ガイド機能搭載

特定の周波数（盗聴電波、警察無線など）を受信すると、音声によりお知らせします。

### ■0.1～1300MHzの広帯域を高感度受信

0.1～1300MHzの広帯域をフルカバー。さらに、AM・FM-N（ナロー）・FM-W（ワイド）の受信モードを搭載していますので、聞きたい情報を逃さずキャッチします。

### ■緊急車両のカーロケータシステムや警察無線が受信可能

パトカーなどに搭載されているカーロケータシステムの電波や警察無線を受信して周囲に緊急車両が走行していることを音声でお知らせします。

### ■盗聴電波専用エリア搭載

無線式盗聴器によく使用されている発信周波数と、全周波数をそれぞれ別のエリアに登録済み。ワンタッチで受信できます。

### ■全国の防災・緊急無線専用エリア搭載

防災・緊急無線のチャンネルを地域別にエリア登録。災害や事故現場などで飛び交う生情報をいち早くキャッチできます。

### ■多彩で実用的なメモリバンク

チャンネルメモリ（任意の周波数）、エリアメモリ（幅を持った周波数帯）のほか、自動選局時に不要な周波数を回避するパスメモリ、任意の周波数を優先受信するプライオリティチャンネルメモリに登録できます。

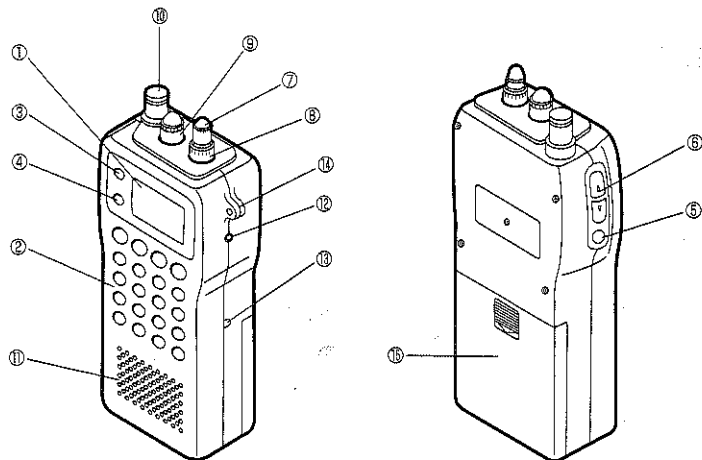
### ■秘話通信の解読

コードレス電話の音声反転式秘話通信を解読できます。

### ■その他便利な機能

- 受信レベルメーター
- アッテネータ機能
- バックライト点灯
- キートーン（操作音）の消去
- 音声ガイドの消去

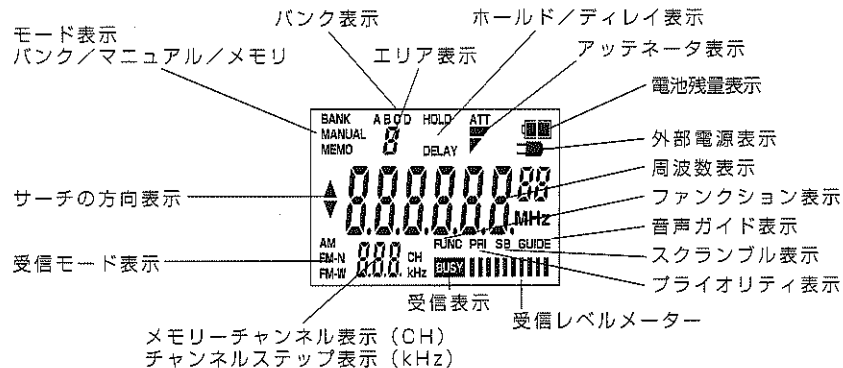
## 4. 各部の名称とはたらき



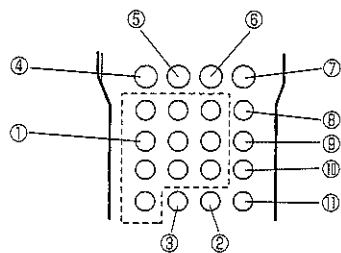
- ① ディスプレイ  
周波数・チャンネルステップ・受信モードなどの表示と、各動作モードを表示します。
- ② キーボード  
受信エリア・周波数などを指定する数値キー（テンキー）と、各機能を持った機能キーがあります。
- ③ 電源ボタン (POWER)  
電源をON/OFFします。  
ボタンを1秒以上押し続けるたびに、ON/OFFが切り替わります。
- ④ ライトボタン (LIGHT)  
ディスプレイ及びキーボードのバックライトを、約10秒間点灯します。
- ⑤ スタート/ストップボタン (START・STOP)  
オートサーチ（自動選局）の開始/停止をします。
- ⑥ アップ/ダウンボタン (▲▼)  
オートサーチの方向指定や、マニュアルサーチなどを行います。
- ⑦ 音量ボリューム (VOL)  
音量を調節します。  
ボリュームを右（時計方向）に回すと、音量が大きくなります。

- ⑧ スケルチボリューム (SQL)  
ノイズスケルチを調整します。  
ボリュームを右（時計方向）に回しすぎると、オートサーチ中に弱い電波を受信できなくなります。  
また、左（反時計方向）に回しすぎるとオートサーチしなくなります。  
ザーという音が出る直前の位置が最適です。
- ⑨ シフトボリューム (SHIFT)  
音声反転式の秘話解読時にキャリア調整をします。
- ⑩ アンテナ端子  
付属のアンテナを接続します。  
市販のアンテナ（BNC型）も接続できます。
- ⑪ スピーカ
- ⑫ イヤホンジャック (EAR)
- ⑬ 外部電源ジャック (DC12V)  
付属のACアダプターを接続します。
- ⑭ ハンドストラップ取付穴
- ⑮ 電池蓋

### 〈ディスプレイ〉



## 〈キーボード〉



- ① 数値キー (テンキー) (0~9)  
周波数の入力、受信エリアの指定などを行います。
- ② エンターキー (./ENTER)  
マニュアルモードに切り替えます。  
また、周波数の入力時やメモリ登録時などの確定入力を行います。

- ③ クリアキー (CLEAR)  
各種設定モードからの復帰、入力の取り消しなどを行います。
- ④ アッテネータキー (ATT)  
アッテネータのON/OFF切替を行います。
- ⑤ プログラム/プライオリティキー (PRO・PRI)  
プログラム受信の設定を行います。  
また、1秒以上押すことでプライオリティ受信の設定を行います。
- ⑥ ホールド/ディレイキー (HOLD・DELAY)  
オートサーチ時の受信待ち時間の設定を行います。
- ⑦ ファンクションキー (FUNC)  
ファンクションモードにします。
- ⑧ モード/パスキー (MODE・PASS)  
受信モードの切替を行います。  
また、1秒以上押すことでパスメモリの登録を行います。
- ⑨ ステップ/セットキー (STEP・SET)  
チャンネルステップを切り替えます。  
また、1秒以上押すことでダイレクトメモリを行います。
- ⑩ バンクキー (BANK)  
バンクモードに切り替えます。  
バンクモード中は、バンクの切替を行います。
- ⑪ メモリキー (MEMO)  
メモリモードに切り替えます。  
メモリモード中は、メモリバンクの切替を行います。

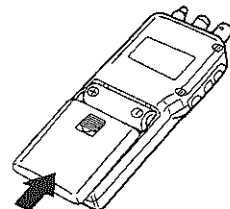
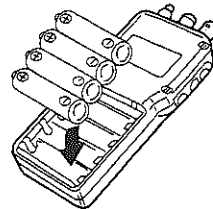
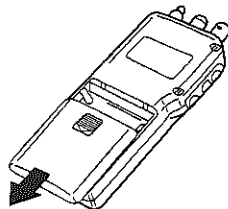
## 5. ご使用になる前に

### 1. 電源について

本機の電源は乾電池 (単3形 4本) を使用します。アルカリ乾電池の場合は、受信待受時で約40時間連続使用できます。また、付属のACアダプターにより、家庭用電源 (AC100V) を利用することができます。  
※外部電源を得る場合は、必ず本機の電源を切ってから、付属のACアダプターを接続してください。

### 2. 乾電池の入れ方

- ① 本体背面の電池蓋を矢印の方向にスライドして外します。
- ② 乾電池 (単3形4本) の極性を間違えないように入れます。
- ③ 電池蓋をスライドして固定します。

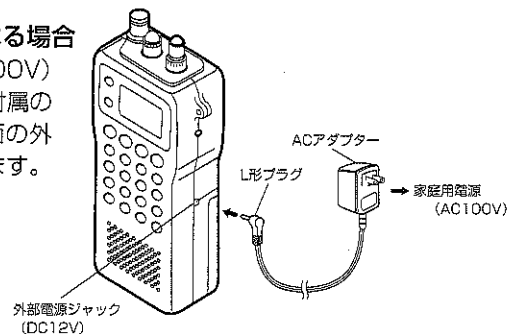


### ちょっと一言

本機を長時間使用しない場合は、乾電池を本機から取り出してください。乾電池を入れたままにしておきますと、乾電池の液漏れにより、故障の原因になります。

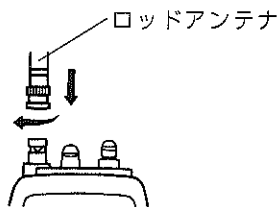
### 3. 家庭用電源でご使用になる場合

本機を家庭用電源 (AC100V) でご使用になるときは、付属のACアダプターを本体側面の外部電源ジャックに接続します。



#### 4. アンテナの取り付け方法

アンテナ端子に付属のロッドアンテナを取り付けます。アンテナ端子の突起部とアンテナの溝を合わせて押し込み、1/4回転回して固定します。



#### ちょっと一言

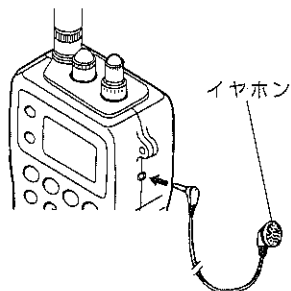
付属のロッドアンテナ以外に、市販のアンテナ（BNC型）もご使用になれます。市販のアンテナを使用する場合は、目的の周波数に合う、インピーダンスが50Ωのものを使用してください。

#### 5. イヤホンで聞く場合

市販のイヤホンをお使いになる場合は、必ず音量を下げてからイヤホンをつけてください。

①音量を下げ、市販のイヤホンを本体側面のイヤホンジャック（EAR）に接続します。

②イヤホンをつけた後、音量ボリューム（VOL）を回して適度な音量にします。



#### ちょっと一言

イヤホンは、プラグの直径が3.5mmのものをご使用ください。イヤホンを接続すると、本体内蔵のスピーカからは音が出ません。音量ボリュームが同じ位置でも、イヤホンで聞く場合はスピーカよりかなり音が大きく聞こえます。イヤホンでお聞きになる場合は、音量に注意してください。

## 6. 操作方法

本機にはバンクモード、メモリモード、マニュアルモードの3種類のモードがあります。

#### (1) バンクモード

[BANK]キーを押すとバンクモードになります。

バンクモードには、よく聞くエリアを40エリア（4バンク×10エリア）に分けて登録してあります。（P.13参照）

#### (2) メモリモード

[MEMO]キーを押すとメモリモードになります。

メモリモードには、任意の周波数または周波数帯を登録可能です。（P.24参照）

#### (3) マニュアルモード

[ENTER]キーを押すとマニュアルモードになります。

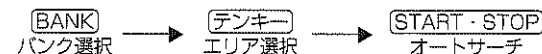
マニュアルモードでは、[テンキー]で入力した周波数を受信可能です。（P.17参照）

#### ステップ1 〈簡単受信をしてみましょう〉

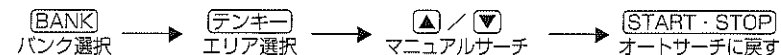
バンクモードには、よく聞くエリアを40エリア（4バンク×10エリア）に分けて登録してあります。お聞きになりたいエリアを、簡単に呼び出して受信できます。

#### 操作方法一覧

##### ① オートサーチ (p.14)



##### ② マニュアルサーチ (p.16)





## バンクモードの登録エリア

バンク	エリア No	受信エリア
A	1	盗聴電波 9チャンネル
	2	盗聴電波 全チャンネル
	3	小電力コードレス電話
	4	ホテルモード
	5	パチンコ無線 ファーストフード店等の業務無線
	6	ギャンブル無線
	7	レース無線・サーキット無線
	8	コンサートワッチ (ワイヤレスマイク)
	9	各種業務無線・簡易無線
	0	タクシー無線
B	1	カーロケータ無線
	2	交通取締連絡無線
	3	警察VHF移動局 (パトカー無線)
	4	警察部隊活動系
	5	警察署活系移動局
	6	鉄道警察隊
	7	ヘリコプター無線 (警察・消防・マスコミ)
	8	レッカー無線
	9	●モード
	0	道路団・JAF・警備
C	1	AM放送
	2	FM放送
	3	TV放送・CATV
	4	短波放送
	5	航空無線
	6	空港無線電話・航空機公衆電話
	7	マリンバンド・国際VHF 船舶無線・漁業・レジャー用 海上運送事業・海上移動業務用
	8	パーソナル無線
	9	アマチュア無線
	0	CB無線
D	1	バス・鉄道・ライフライン
	2	MCA業務無線
	3	報道連絡波・特定小電力トランシーバ
	4	防災行政無線 (50~70帯) 防災行政無線 (VHF/UHF)
	5	防災行政無線 (800M帯)
	6	消防・救急 (北海道地区)
	7	消防・救急 (東北-北陸地区)
	8	消防・救急 (関東-東海地区)
	9	消防・救急 (中部-近畿地方)
	0	消防・救急 (中国-四国-九州地区)

## ①受信エリア内をオートサーチする

登録済みのエリアをオートサーチして、チャンネルを受信する。

### 操作方法

(例) バンクAのエリア3に登録してある受信エリア (小電力コードレス電話) を、オートサーチして聞く。

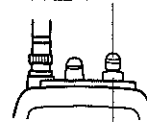
#### ① 電源を入れます

電源を入れるには、[POWER] ボタンを1秒以上押し続けてください。  
電源が入ると、液晶ディスプレイが表示します。

#### ② 音量を調節します

音量ボリュームを回して、適度な音量に調節します。

音量ボリューム



スケルチボリューム

#### ③ スケルチを調節します

スケルチボリュームを回して、ザー音が止まる位置に調節します。

### ちょっと一言

スケルチボリュームを右 (時計方向) に回しすぎると、オートサーチ中に弱い電波を受信できなくなります。  
また、左 (反時計方向) に回しすぎるとオートサーチしくなくなります。目安として、スケルチボリュームの印が中央にくるようにしてください。

#### ④ バンクAを指定します

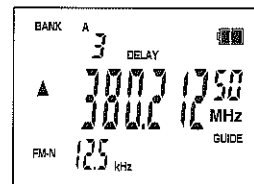
バンクを指定するには[BANK]キーを押してください。  
[BANK]キーを押すたびにバンクがA→B→C→D→Aと切り替わります。

#### ⑤ エリア3を指定します

エリアを指定するには対応する[テンキー]を押してください。  
エリア3を指定するには、[3]キーを押してください。

#### ⑥ オートサーチします

オートサーチを行うには、[START-STOP]ボタンを押してください。  
オートサーチが開始されると、液晶ディスプレイ上の周波数表示の左側に、“▲”または“▼”マークが表示されます。



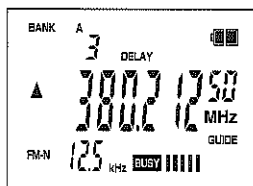
液晶ディスプレイ表示

### ちょっと一言

“▲”または“▼”マークはオートサーチの方向を表します。  
“▲”マークは周波数が小さいものから大きいものへ、“▼”マークは周波数が大きいものから小さいものへ順にサーチします。  
オートサーチの方向は、[▲]または[▼]ボタンで変更できます。

### ⑦ チャンネルを受信します

通話中のチャンネルがあると、そのチャンネルでオートサーチを停止し、受信状態になります。受信状態では、**BUSY**マークが点灯します。また、受信した電波の強さに応じてレベルメーターが点灯します。



受信状態の表示

### ⑧ 受信が終了するとオートサーチを開始します

受信中のチャンネルが終了する、または電波が非常に弱くなって受信できなくなると、設定された時間分待機した後、オートサーチを再開します。

### 注意

液晶ディスプレイに“HOLD”が表示されている場合、または“▲”“▼”マークが消えている場合はオートサーチを再開しません。  
オートサーチを行う場合は、[START・STOP]ボタンを押してください。

受信が終了する前にオートサーチを再開したい場合は、[▲]または[▼]ボタンを押してください。

### ちょっと一言

“HOLD”は一度電波を受信すると、受信を終了してもオートサーチを再開しません。  
“DELAY”は一定時間（設定された時間）受信待ちしたあと、オートサーチを再開します。オートサーチを再開するまでの時間をディレイ時間といいます。  
“HOLD”、“DELAY”の設定は変更可能です。

### ② 受信エリア内をマニュアルサーチする

登録済みのエリアをマニュアル操作でサーチします。

### 操作方法

① 電源を入れます

② 音量を調節します

③ スケルチを調節します

④ バンクを指定します

バンクを指定するには[BANK]キーを押してください。

[BANK]キーを押すたびにバンクが[A]→[B]→[C]→[D]→[A]→…と切り替わります。

⑤ エリアを指定します

エリアを指定するには対応する[テンキー]を押してください。

⑥ マニュアルサーチします

受信チャンネルを変更するには、[▲]または[▼]ボタンを押してください。

[▲]または[▼]ボタンを押すたびに、1チャンネルずつ受信チャンネルが移動します。

### ちょっと一言

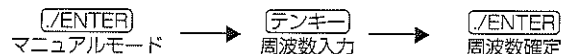
[▲]ボタンをおすと、周波数が小さいチャンネルから大きいチャンネルへ、[▼]ボタンを押すと、周波数が大きいチャンネルから小さいチャンネルへ移動します。

[▲]または[▼]ボタンを押し続けると、押し続けている間連続で受信チャンネルが移動し続けます。[▲]または[▼]ボタンと同時に[FUNC]キーも押し続けると、受信チャンネルの移動スピードが速くなります。

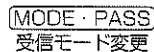
## ステップ2 〈マニュアル操作にチャレンジしましょう〉

### 操作方法一覧

#### ① マニュアル入力受信 (P.18)



#### ② 受信モード設定 (P.19)



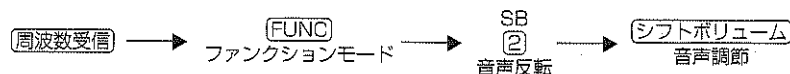
#### ③ チャンネルステップ設定 (P.20)



#### ④ ディレイ時間設定 (P.21)



#### ⑤ 秘話通信の解読 (P.22)



#### ⑥ アッテネータ設定 (P.23)



#### ① マニュアル入力受信

お聞きになりたい周波数をキーボードより入力し、ダイレクトにその周波数を受信します。

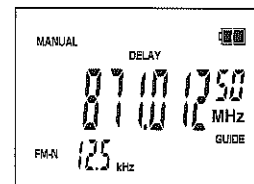
### 操作方法

(例) 871.0125MHzのチャンネルをダイレクトに受信する。

#### ① マニュアルモードにします

マニュアルモードに切り替えるには、(ENTER)キーを押します。

マニュアルモードに切り替わると、液晶ディスプレイに“MANUAL”と表示されます。



液晶ディスプレイ表示

#### ② 受信したい周波数 (871.0125MHz) を入力します

キーボードから、871 (ENTER) 0125 の順に入力します。

入力を間違った場合は、(CLEAR)キーを押して再度入力してください。

#### ③ 入力した周波数を確定します

入力した周波数を確定するには、(ENTER)キーを押します。

入力したチャンネルで受信待ち状態になります。

#### ④ マニュアルモードを解除するときは(BANK)キーを押します

### ちょっと一言

- 入力した周波数がチャンネルステップと一致しない場合、チャンネルステップは周波数と一致するものに変更されます。  
例えば、チャンネルステップが5kHzに設定されているときに871.0125MHzを入力すると、チャンネルステップは12.5kHzに変更されます。
- 登録済みのどのチャンネルステップとも周波数が一致しない場合は、周波数が自動修正されます。  
登録されているチャンネルステップは、5kHz、6.25kHz、9kHz、10kHz、12.5kHz、20kHz、25kHz、50kHz、100kHz、125kHzの10種です。

### で注意

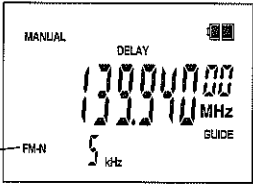
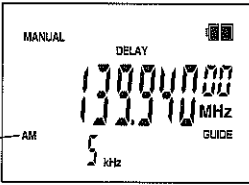
マニュアルモードで入力可能な周波数の範囲は0.1～1300MHzです。

## ②受信モードの設定

受信モードをAM、FM-N（ナロー）、FM-W（ワイド）の3種類から切り替えられます。

### 操作方法

（例）マニュアルモードで受信モードをFM-NからAMに切り替えてオートサーチする。

- 1 マニュアルモードに切り替えます。  
マニュアルモードに切り替えるには、**[ENTER]**キーを押します。  
 受信モード表示  
液晶ディスプレイ表示
- 2 受信モードをAMに変更します  
受信モードを変更するには、**[MODE-PASS]**キーを押します。  
**[MODE-PASS]**キーを押すたびに、受信モードがAM→FM-N→FM-W→AM→…と切り替わります。  
 受信モード表示  
液晶ディスプレイ表示
- 3 オートサーチします  
オートサーチを行う場合は、**[START-STOP]**ボタンを押してください。
- 4 マニュアルモードを解除するときは**[BANK]**キーを押します。

### 注意

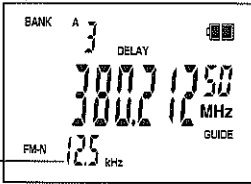
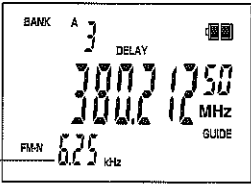
受信エリアと受信モードが合っていない場合、音声に変化する、受信できないなどの不都合が起こることがあります。この場合、正常な音声で聞こえるように、受信モードを切り替えてください。

## ③チャンネルステップの設定

チャンネルステップを5、6.25、9、10、12.5、20、25、50、100、125kHzの中から切り替えられます。

### 操作方法

（例）**[BANK]**・**[AREA]**のチャンネルステップを6.25kHzに変更してオートサーチする。

- 1 **[BANK]**の**[AREA]**を呼び出します。  
操作については「ステップ1 ①受信エリア内をオートサーチする」(P14)を参照してください。  
**[BANK]**・**[AREA]**は、初期のチャンネルステップが12.5kHzになって  
 チャンネルステップ  
液晶ディスプレイ表示
- 2 チャンネルステップを6.25kHzに変更します  
チャンネルステップを変更するには、**[STEP-SET]**キーを押します。  
**[STEP-SET]**キーを押すたびに、チャンネルステップが5→6.25→…100→125→5→…と切り替わります。  
 チャンネルステップ  
液晶ディスプレイ表示
- 3 オートサーチします  
オートサーチを行う場合は、**[START-STOP]**キーを押してください。  
**[BANK]**・**[AREA]**を6.25kHzでオートサーチします。

### 注意

チャンネルステップが、受信エリアのステップ（初期設定のステップ）と合っていないと、受信できなくなる場合があります。  
**[BANK]**の**[AREA]**、**[BANK]**の**[AREA]**はチャンネルステップの変更ができません。

#### ④ディレイ時間の設定

オートサーチ時のディレイ時間(受信待ち時間)を、2秒、6秒、10秒、ワールドから切り替えることができます。

オートサーチ時に受信が終了すると、設定した時間が経過した後オートサーチを再開します。

#### 操作方法

(例) BANK[A]・エリア[B]のディレイ時間を10秒に変更してオートサーチする。

##### ① BANK[A]・エリア[B]を呼び出します。

操作方法は「ステップ1 ①受信エリア内をオートサーチする」(P14)を参照してください。

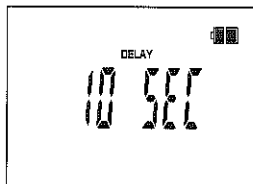
BANK[A]・エリア[B]は、初期のディレイ時間が6秒になっています。

##### ② ディレイ時間を選択します

ディレイ時間を変更するには、**[HOLD・DELAY]**キーを押します。

**[HOLD・DELAY]**キーを押すと、液晶ディスプレイにディレイ時間が表示されます。

**[HOLD・DELAY]**キーを押すたびに、表示されたディレイ時間が切り替わります。



ディレイ時間選択時表示

##### ③ ディレイ時間を確定します

選択したディレイ時間を確定するには、**[ENTER]**キーを押します。

#### 注意

バンク[B]のエリア[C]とチャンネルメモリ登録したチャンネルでは、ディレイ時間の変更はできません。

##### ④ オートサーチします

オートサーチを行う場合は、**[START・STOP]**ボタンを押してください。

BANK[A]・エリア[B]をディレイ時間10秒でオートサーチします。

#### ちょっと一言

ディレイ時間をホールドに設定した場合は、オートサーチ中に一度電波を受信すると、受信を終了してもオートサーチを再開しません。

#### ⑤秘話通信(スクランブル)の解読

コードレス電話の秘話通信機能(スクランブル機能)は、おもに音声反転式が使用されています。秘話通信を受信する場合、そのままでは音声として聞くことはできません。

本機は、コードレス電話の音声反転式秘話通信を解読することができます。

#### 操作方法

##### ① 秘話通信を受信します

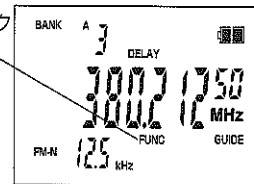
##### ② ファンクションモードにします

ファンクションモードにするには、

**[FUNC]**キーを押します。

**[FUNC]**キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。

ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。



液晶ディスプレイ表示

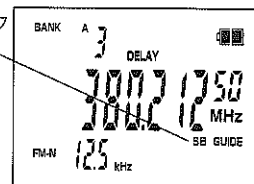
##### ③ 音声反転機能をONにします

音声反転機能をONにするには、ファンクションモード中に**[テンキョウ]**の**[2]**キーを押します。

音声反転機能をONになると、液晶ディスプレイに“SB”マークが表示されます。

音声反転機能がON中に上記操作を行うと、音声反転機能はOFFになります。

また、受信周波数に変更、または受信エリアが変更されると音声反転機能はOFFになります。

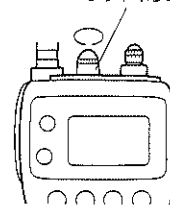


液晶ディスプレイ表示

##### ④ シフトボリュームを調節します

シフトボリュームを回し、音声聞き取りやすい位置に調節します。

シフトボリューム



#### 注意

本機は、音声反転式以外の秘話通信を解読することはできません。

## ⑥アッテネータの設定

アッテネータを使うことで、受信感度を下げることができます。  
強い電波を受信した場合や、混信がひどいときにアッテネータをONにしてください。

### 操作方法

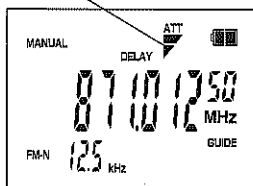
アッテネータをONにするには、**[ATT]**キーを押してください。

**[ATT]**キーを押すたびに、アッテネータの設定がOFF→ON（低感度）→ON（最低感度）→OFF→…と切り替わります。

アッテネータがONになっていると感度に合わせて液晶ディスプレイに表示されます。

切り替わり時には、音声でお知らせします（音声ガイド機能がONのとき）。

アッテネータマーク



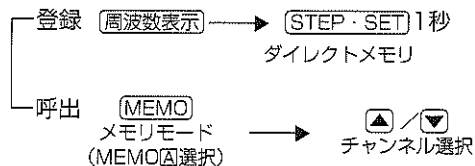
液晶ディスプレイ表示

設定	音声ガイド	表示
ON (低感度)	“アッテネータモードに設定しました 低感度です”	ATT ▲
ON (最低感度)	“アッテネータモードに設定しました 最低感度です”	ATT ▲
OFF	“解除しました 最高感度です”	なし

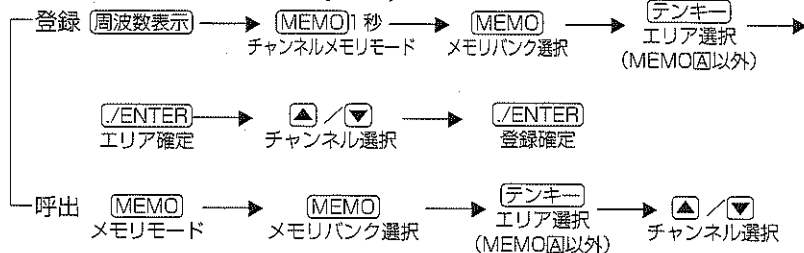
## ステップ3 <メモリ登録をしましょう>

### 操作方法一覧

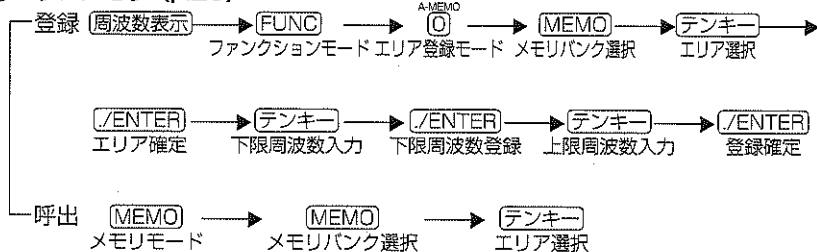
#### ①ダイレクトメモリ (P.26)



#### ②グループ別チャンネルメモリ (P.27)



#### ③エリアメモリ (p.29)



#### ④パスメモリ登録 (P.31)



## 〈メモリの構成と登録方法〉

本機は、大容量のメモリバンクを4バンクに分けることにより、使用頻度や目的に応じてメモリ登録できます。

その他、不要な周波数をパスするパスメモリや、特定の周波数を優先受信するプライオリティチャンネルがあります。

### メモリの構成

メモリバンク	メモリ数	メモリ登録
A	300チャンネル	ダイレクトメモリ グループ別チャンネルメモリ
B	10エリア	グループ別チャンネルメモリ エリアメモリ
C	10エリア	グループ別チャンネルメモリ エリアメモリ
D	10エリア	グループ別チャンネルメモリ エリアメモリ
その他のメモリ	メモリ数	メモリ登録
パスメモリ	200チャンネル	パスメモリ
プライオリティ	10チャンネル	プライオリティチャンネルメモリ

### メモリの登録

メモリバンクへのメモリ登録は、3つの方法があります。

- (1) 受信中の周波数をそのままメモリに登録する→ダイレクトメモリ  
メモリバンクのMEMO[A]にメモリ登録します。  
000CH~299CHまで300チャンネル登録できます。
- (2) 周波数をグループ別にメモリ登録する。  
メモリバンクのMEMO[B]~[D]にメモリ登録します。  
MEMO[A]には000CH~299CHまで300チャンネル、MEMO[B]~[D]には  
①~⑩の10エリアそれぞれに000CH~029CHまで30チャンネル登録  
できます。
- (3) 受信エリア（周波数範囲）をメモリ登録する→エリアメモリ  
メモリバンクのMEMO[B]~[D]にメモリ登録します。  
MEMO[B]~[D]には①~⑩の10エリア登録できます。

### 注意

MEMO[B]~[D]の1つのエリア内にチャンネルメモリとエリアメモリの両方を同時に登録することはできません。別種のメモリを行う際は、一度メモリを消去してください。

### ①ダイレクトメモリの登録と受信方法

特定の周波数をMEMO[A]に登録することができます。

周波数は、000CH~299CHまで300チャンネル登録できます。

#### メモリの登録方法

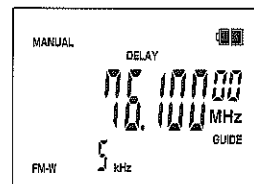
(例) 周波数76.100MHzをダイレクトメモリ登録する場合

#### ① 周波数76.100MHzを表示します。

まず[ENTER]キーを押しマニュアルモードにします。

次にキーボードから、**[7][6][ENTER][1][ENTER]**の順に入力します。

入力を間違った場合は、[CLEAR]キーを押し再度入力してください。



液晶ディスプレイ表示

#### ② 表示中の周波数を登録します

ダイレクトメモリを行うには、[STEP·SET]キーを1秒以上押ししてください。MEMO[A]の空きチャンネルに登録されます。

空きチャンネルが複数ある場合は、チャンネルナンバーが最も小さいチャンネルに登録されます。

空きチャンネルがない場合は、299CHに上書き登録されます。

#### メモリの受信方法

ダイレクトメモリ登録した周波数を呼び出して受信します。

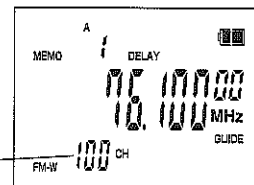
(例) MEMO[A]の100CHに登録した周波数を受信する場合

#### ① メモリモードでMEMO[A]を指定します

メモリモードに入るには、[MEMO]キーを押ししてください。

メモリモード中に[MEMO]キーを押すと、MEMO[A]→[B]→[C]→[D]→[A]→…と切り替わります。

チャンネル表示



液晶ディスプレイ表示

#### ② チャンネルを指定します

チャンネルを変更するには、[▲]または[▼]ボタンを押します。

[▲]または[▼]ボタンを押し、チャンネルを100CHに合わせてください。

## ②グループ別チャンネルメモリの登録と受信方法

特定の周波数をMEMO①～④に登録することができます。

使用頻度や目的に応じて、グループ別に分類してメモリ登録しておく、簡単に呼び出すことができます。

周波数は、MEMO①は000CH～299CHまで300チャンネル、MEMO②～④は①～④の10エリアそれぞれに000CH～029CHまで30チャンネル登録できます。

### メモリの登録方法

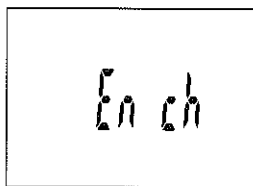
(例) 周波数76.100MHzを、MEMO②のエリア②の010CHに登録する場合

#### ① 周波数76.100MHzを表示します

まず[ENTER]キーを押しマニュアルモードにします。  
次にキーボードから、⑦⑥[ENTER]①[ENTER]の順に入力します。  
入力を間違った場合は、[CLEAR]キーを押して再度入力してください。

#### ② チャンネルメモリモードに入ります

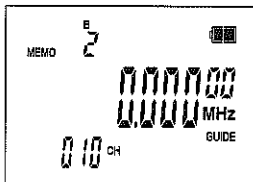
チャンネルメモリモードに入るには、[MEMO]キーを1秒以上押してください。  
チャンネルメモリモードに入ると、液晶ディスプレイに“En ch”と表示されます。



チャンネルメモリモード

#### ③ MEMO②を指定します

MEMO②を指定するには、バンク表示が点滅している状態で[MEMO]キーを押してください。  
[MEMO]キーを押すたびに、MEMO①→②→③→④→①→②→③→④と切り替わります。



液晶ディスプレイ表示

#### ④ エリア②を指定します

エリア②を指定するには、エリア表示が点滅している状態で[テンキー]の②キーを押した後、[ENTER]キーを押してください。

#### ⑤ 010CHを指定します

チャンネルを変更するには、メモリーチャンネル表示が点滅している状態で  
▲または▼ボタンを押します。  
▲または▼ボタンを押し、チャンネルを010CHにあわせてください。

### ちょっと一言

グループ別チャンネルメモリ登録時は、[テンキー]を使い、直接チャンネルを指定することもできます。

010CHを指定するには、[テンキー]を①②と押してください。

指定したチャンネルが空いていれば、周波数は0.000と表示されます。

#### ⑥ 周波数を登録します

指定したチャンネルに登録するには、[ENTER]キーを押してください。

### 注意

すでにエリアメモリが登録されているエリアには、チャンネルメモリを登録することはできません。

他のエリアに登録する、もしくはすでに登録してあるエリアメモリを消去してから登録してください。

### メモリ受信方法

チャンネルメモリ登録した周波数を呼び出して受信します。

(例) MEMO②のエリア②の010CHに登録した周波数を受信する場合

#### ① メモリモードでMEMO②を指定します

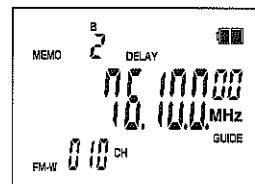
メモリモードに入るには、[MEMO]キーを押してください。  
メモリモード中に[MEMO]キーを押すと、MEMO①→②→③→④→①→②→③→④と切り替わります。

#### ② エリア②を指定します

エリア②を指定するには、[テンキー]の②キーを押してください。

#### ③ 010CHを指定します

チャンネルを変更するには、▲または▼ボタンを押します。  
▲または▼ボタンを押し、チャンネルを010CHにあわせてください。



液晶ディスプレイ表示



### ③エリアメモリの登録と受信方法

特定の受信エリア(受信周波数範囲)をMEMO①～④に登録することができます。  
受信エリアは、MEMO①～④それぞれにエリア①～④の10エリアに登録できます。

#### メモリの登録方法

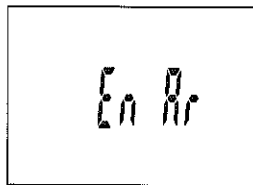
(例) 108.1～170.3MHzの範囲を、MEMO①のエリア①に登録する場合

#### ① ファンクションモードに入ります

ファンクションモードに入るには、**[FUNC]**キーを押します。  
**[FUNC]**キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。  
ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。

#### ② エリア登録モードに入ります

エリア登録モードに入るには、ファンクションモード中に**[0]**キーを押してください。  
エリア登録モードに入ると、液晶ディスプレイに“En Ar”と表示されます。



エリアメモリモード

#### ③ MEMO①を指定します

MEMO①を指定するには、バンク表示が点滅している状態で**[MEMO]**キーを押してください。

**[MEMO]**キーを押すたびに、MEMO①→②→③→④と切り替わります。

#### ④ エリア①を指定します

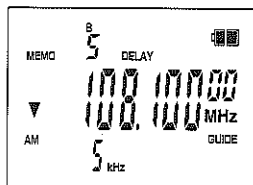
エリア①を指定するには、エリア表示が点滅している状態で**[テンキー]**の**[5]**キーを押した後、**[ENTER]**キーを押してください。

#### 注意

すでにチャンネルメモリが登録されているエリアには、エリアメモリを登録することはできません。  
他のエリアに登録するか、もしくはすでに登録してあるチャンネルメモリを消去してから登録してください。

#### ⑤ 下限周波数を入力します

キーボードから、**[1][0][8]** **[ENTER]** **[1]** **[ENTER]**の順に入力します。  
入力を間違った場合は、**[CLEAR]**キーを押して再度入力してください。



下限周波数登録時の表示

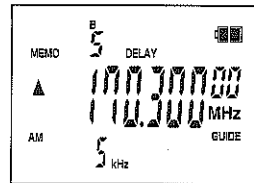
#### ⑥ 下限周波数を登録します

入力した下限周波数を登録するには、**[ENTER]**キーを押します。

#### ⑦ 上限周波数を入力します

キーボードから、**[1][7][0]** **[ENTER]** **[3]** **[ENTER]**の順に入力します。

入力を間違った場合は、**[CLEAR]**キーを押して再度入力してください。



上限周波数登録時の表示

#### ちょっと一言

チャンネルステップおよび受信モードを変更したい場合は、上限周波数の入力時に行ってください。

チャンネルステップを変更するには、**[STEP・SET]**キーを押してください。  
受信モードを変更するには、**[MODE・PASS]**キーを押してください。

#### ⑧ 上限周波数を登録します

入力した上限周波数を登録するには、**[ENTER]**キーを押します。

#### ちょっと一言

登録可能な受信エリアの範囲は、0.1～1300MHzです。  
エリア登録モードを終了させるには、**[CLEAR]**キーを押してください。  
また、約20秒間の無操作でも終了します。

#### メモリの受信方法

エリアメモリ登録した受信エリアを呼び出して受信します。

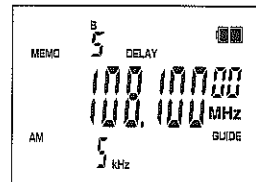
(例) MEMO①のエリア①に登録した受信エリアを受信する場合

#### ① メモリモードでMEMO①を指定します

メモリモードに入るには、**[MEMO]**キーを押してください。  
メモリモード中に**[MEMO]**キーを押すと、MEMO①→②→③→④と切り替わります。

#### ② エリア①を指定します

エリア①を指定するには、**[テンキー]**の**[5]**キーを押してください。



液晶ディスプレイ表示

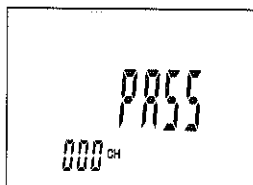
#### ④ パスメモリの登録

制御チャンネルなど、受信に不要な周波数をパスチャンネルに登録しておく  
と、オートサーチ中は登録した周波数をパスします。

パスメモリーは最大200チャンネル (000~199CH) 登録できます。

##### メモリの登録方法

- ① **パスしたい周波数を表示します**  
バンクモードまたはメモリモードでパスしたい周波数を選択します。
- ② **パスメモリに登録します**  
パスメモリに登録するには、**[MODE・PASS]**キーを1秒以上押してください。  
パスメモリに登録されると、液晶ディスプレイに“PASS”と表示されます。



パスメモリ登録時の表示

##### 注意

マニュアルモードではパスメモリの登録は行えません。  
チャンネルメモリでパスメモリ登録を行うと、チャンネルメモリ消去操作に  
なります。

#### ⑤ メモリの消去

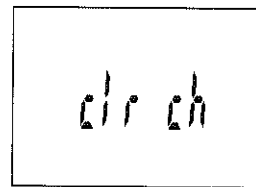
メモリバンクに登録した内容を消去することができます。

##### (1) チャンネルの個別消去

登録されているチャンネルメモリを、個別に消去します。

##### 操作方法

- ① **消去したチャンネルを表示します**  
メモリモードに入り、消去したいチャンネルを  
表示してください。
- ② **表示されているチャンネルを消去します**  
消去するには、**[MODE・PASS]**キーを1秒以上押  
してください。  
消去すると、液晶ディスプレイに“clr ch”と  
表示されます。



チャンネル消去時の表示

## (2) エリア消去

登録された受信エリアを消去します。

また、一つのエリアに登録されているチャンネルメモリを一括して消去できます。

### 操作方法

#### ① ファンクションモードに入ります

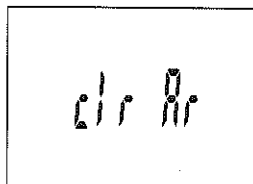
ファンクションモードに入るには、**[FUNC]**キーを押します。

**[FUNC]**キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。

ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。

#### ② エリア消去モードに入ります

エリア消去モードに入るには、ファンクションモード中に、**[MEMO]**キーを押してください。エリア消去モードに入ると、液晶ディスプレイに“clr Ar”と表示されます。



エリア消去モードの表示

#### ③ メモリバンクを指定します

メモリバンクを指定するには、**[MEMO]**キーを押してください。

**[MEMO]**キーを押すたびに、MEMO[A]→[B]→[C]→[D]→[A]→…と切り替わります。

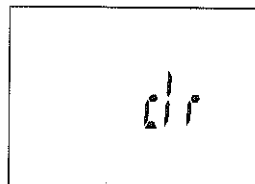
#### ④ エリアを指定します

エリアを指定するには、**[テンキー]**を押してください。

#### ⑤ 指定されたエリアを消去します

消去するには、**[ENTER]**キーを押してください。

消去すると液晶ディスプレイに“clr”と表示されます。



エリア消去時の表示

#### ⑥ エリア消去モードを終了します

エリア消去モードを終了するには、**[CLEAR]**キーを押してください。

また、無操作が約20秒間続いた場合、自然終了します。

## (3) パスメモリの消去

登録されたパスメモリを消去します。

### 操作方法

#### ① ファンクションモードに入ります

ファンクションモードに入るには、**[FUNC]**キーを押します。

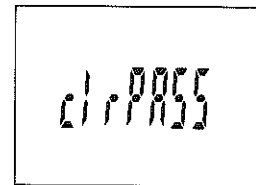
**[FUNC]**キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。

ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。

#### ② パスメモリ消去モードに入ります

パスメモリ消去モードに入るには、ファンクションモード中に、**[MODE-PASS]**キーを押してください。

パスメモリに消去モードに入ると、液晶ディスプレイに“clrPASS”と表示されます。



パスメモリ消去モード

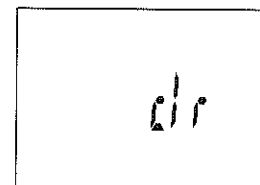
#### ③ チャンネルを指定します

チャンネルを指定するには、**[テンキー]**または**[▲]****[▼]**ボタンを使います。

#### ④ 指定したパスメモリを消去します

消去するには、**[ENTER]**キーを押してください。

消去すると液晶ディスプレイに、“clr”と表示されます。



#### ⑤ エリア消去モードを終了します

エリア消去モードを終了するには、**[CLEAR]**キーを押してください。

また、無操作が約20秒間続いた場合、自然終了します。

パスメモリ消去時の表示

## ステップ4 <その他の機能も使ってみましょう>

### ①プログラム受信

通常は一つのエリア内しかサーチできませんが、プログラム受信を使うとたとえばBANK[A]のエリア①→BANK[B]のエリア②→BANK[C]のエリア③→…というように複数のエリアをまとめてサーチできます。

#### 操作方法

#### ① 最初のエリアを指定します

バンクモード時は[BANK]キー、メモリモードでは[MEMO]キーでバンクを指定し、[テンキー]でエリアを指定します。

#### 注意

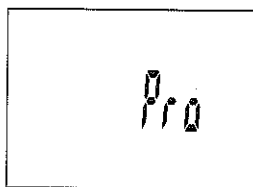
マニュアルモードではプログラム受信ができません。  
また、バンクモードとメモリモードを混在させてプログラム受信することはできません。

#### ② プログラム受信モードに入ります

プログラム受信モードに入るには、[PRO・PRI]キーを押します。

プログラム受信モードに入ると、液晶ディスプレイに“Pro”と表示されます。

プログラム受信モード中は、登録予定のバンク表示(A~D)が点滅します。



プログラム受信モード

#### ③ プログラム受信するエリアを登録します

バンクモード時は[BANK]キー、メモリモードでは[MEMO]キーでバンクを指定し、[テンキー]でエリアを指定します。

[テンキー]を押した時点で登録されます。

#### 注意

同じエリアを複数回登録することはできません。

#### ④ サーチします

オートサーチおよびマニュアルサーチが可能です。

#### ⑤ プログラム受信を終了します

プログラム受信を終了するには、[PRO・PRI]キーを押します。

### ②プライオリティ受信

プライオリティ受信は、他の周波数を受信していても、特定の周波数（プライオリティチャンネル）の検索を行い、信号があれば優先受信する機能です。プライオリティチャンネルは000CH~009CHの10チャンネルあります。また、000CHには350.1MHz（速度取締連絡波）が初期登録されています。（上書きは可能です。）

#### プライオリティチャンネルの登録方法

(例) 周波数118,000MHzを受信モードAMでプライオリティチャンネル005CHに登録する場合。

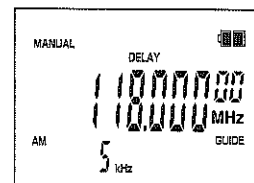
#### ① 登録したい周波数を表示します

まず[ENTER]キーを押しマニュアルモードにします。

次にキーボードから、①①⑧[ENTER] [ENTER]の順に入力します。

入力を間違った場合は、[CLEAR]キーを押して再度入力してください。

受信モードを変更するには、[MODE・PASS]キーを押します。



液晶ディスプレイ表示

#### ② ファンクションモードに入ります

ファンクションモードに入るには、[FUNC]キーを押します。

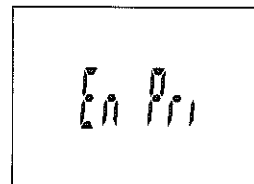
[FUNC]キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。

ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。

#### ③ プライオリティ登録モードに入ります

プライオリティ登録モードに入るには、ファンクションモード中に[PRO・PRI]キーを押してください。

エリア消去モードに入ると、液晶ディスプレイに“En Pri”と表示されます。



プライオリティ登録モード表示

#### ④ 登録チャンネルを指定します

チャンネルを指定するには、[テンキー]または[▲][▼]ボタンを使います。

## ⑤ 登録します

登録するには、**[ENTER]**キーを押してください。

登録が完了すると、プライオリティ登録モードは終了します。

登録せずにプライオリティ登録モードを終了したい場合は、**[CLEAR]**キーを押してください。

また、20秒間無操作が続いた場合は、プライオリティ登録モードが自動終了します。

## プライオリティチャンネルの受信方法

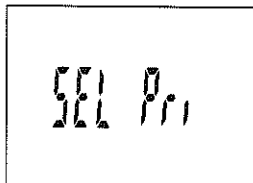
(例) プライオリティチャンネル005CHを受信する場合。

### ① プライオリティ設定モードに入ります

プライオリティ設定モードに入るには、

**[PRO・PRI]**キーを1秒以上押します。

プライオリティ設定モードに入ると、“SEL Pri”と表示されます。



プライオリティ  
設定モード

### ② チャンネル設定します

チャンネルを指定するには、**[テンキー]**または**[▲]**  
**[▼]**ボタンを使います。

### ③ プライオリティ受信を開始します

プライオリティ受信を開始するには、**[ENTER]**キーを押してください。  
3秒間隔でプライオリティチャンネルの信号検索を行います。

### ④ プライオリティチャンネルに受信があれば受信待機状態になります

ブザー音となり、液晶ディスプレイに“PRI”と表示されます。

### ⑤ プライオリティ受信を解除します

プライオリティ受信を解除するには、**[PRO・PRI]**キーを1秒以上押します。

## 注意

プライオリティ受信を設定していると、他の周波数を受信時に約3秒間隔で受信が途切れますがこれは故障ではありません。

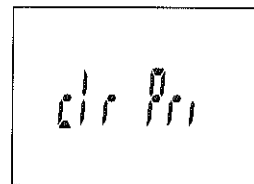
## プライオリティチャンネルの消去方法

### ① ファンクションモードに入ります

ファンクションモードに入るには、**[FUNC]**キーを押します。

**[FUNC]**キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。

ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。



プライオリティ  
チャンネル  
消去モード表示

### ② プライオリティチャンネル消去モードに入ります

プライオリティチャンネル消去モードに入るには、ファンクションモード中に**[CLEAR]**キーを押してください。  
消去モードに入ると、液晶ディスプレイに“clr Pri”と表示されます。

### ③ 消去したいチャンネルを指定します

チャンネルを指定するには、**[テンキー]**または**[▲]****[▼]**キーを使います。

### ④ 消去します

消去するには、**[ENTER]**キーを押してください。

### ⑤ プライオリティチャンネル消去モードを終了します

プライオリティチャンネル消去モードを終了するには、**[CLEAR]**キーを押してください。また、20秒間無操作が続いた場合は、プライオリティチャンネル消去モードが自動終了します。

### ③音声ガイド機能

特定エリア指定時および受信時には音声によりお知らせします。

#### (1)盗聴電波の受信

BANK図のエリア①、②、④に盗聴電波が登録してあります。

		音声ガイド
エリア①、②	エリア指定時	"盗聴電波をサーチします"
	受信時	"ピンポーン、盗聴電波をキャッチしました"
エリア④	エリア指定時	"サーチします"
	受信時	"ピンポーン、盗聴電波をキャッチしました"

#### (2)カーロケ無線の受信

BANK図のエリア①にカーロケ無線が登録してあります。

		音声ガイド
エリア指定時	"カーロケを設定しました"	
受信時	"ピンポーン、カーロケをキャッチしました"	
接近時	"ピンポーン、緊急車両に接近しました"	
離反時	"ピンポーン、緊急車両が遠ざかりました"	

#### (3)取締無線の受信

BANK図のエリア②に取締無線が登録してあります。

		音声ガイド
エリア指定時	"取締無線を設定しました"	
受信時	"ピンポーン、取締無線をキャッチしました"	

#### (4)デジタル無線の受信

BANK図のエリア③、④、⑥にデジタル無線が登録してあります。

		音声ガイド
エリア指定時	"デジタル無線を設定しました"	
受信時	"ピンポーン、デジタル無線をキャッチしました"	
接近時	"ピンポーン、緊急車両に接近しました"	
離反時	"ピンポーン、緊急車両が遠ざかりました"	

#### (5)署活系無線の受信

BANK図のエリア⑤に署活系無線が登録してあります。

		音声ガイド
エリア指定時	"署活系無線を設定しました"	
受信時	"ピンポーン、署活系無線をキャッチしました"	
接近時	"ピンポーン、緊急車両に接近しました"	
離反時	"ピンポーン、緊急車両が遠ざかりました"	

#### (6)ヘリテレ無線の受信

BANK図のエリア⑦にヘリテレ無線が登録してあります。

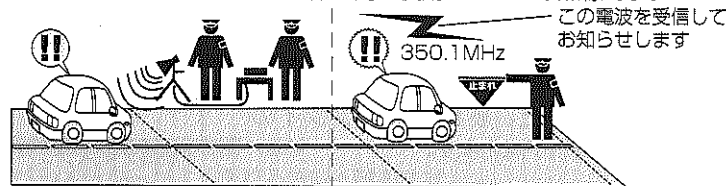
		音声ガイド
エリア指定時	"ヘリテレ無線を設定しました"	
受信時	"ピンポーン、ヘリテレ無線をキャッチしました"	

#### ちょっと一言

BANK図のエリア⑧(●モード)は、指定時の音声ガイドはありませんが、受信時には各周波数に対応した音声ガイドを行います。

#### ■取締無線 (350.1MHz) とは

速度取締り現場で、測定係と停止係の間で使用されている無線です。

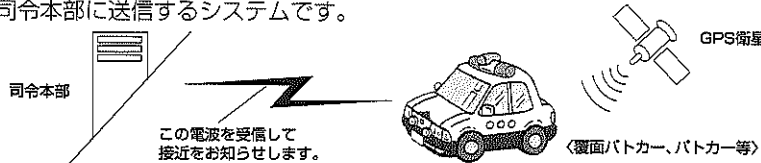


速度測定波発射 → 速度記録 → 停止係

#### ■カーロケ無線とは

カーロケータシステムに用いられる無線です。

カーロケータシステムとは、GPSによる位置データを無線で定期的(間欠)に司令本部に送信するシステムです。

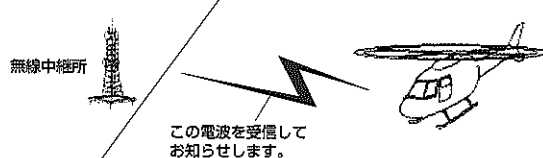


#### ■デジタル無線・署活系無線とは

緊急車両どうしの通信に用いられる無線です。デジタル無線と署活系無線の2種類があります。デジタル化されているため、内容を聞くことはできません。

#### ■ヘリテレ無線(ヘリコプター取締無線)とは

ヘリコプターから無線中継所へ送信される電波のことで主に、事件・事故や取締等の時、上空と地上で連絡を取るために使われています。



## 音声ガイド機能のON/OFF

音声ガイド機能は、必要に応じてON/OFFを切り替えられます。

### 操作方法

#### ① ファンクションモードに入ります

ファンクションモードに入るには、**[FUNC]**キーを押します。

**[FUNC]**キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。

ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。

#### ② 音声ガイド機能のON/OFFを切り替えます

音声ガイド機能のON/OFFを切り替えるには、ファンクションモード中に**[テンキー]**の**[4]**キーを押してください。

音声ガイド機能がONのときは、液晶ディスプレイに“GUIDE”と表示され、音声ガイド機能がOFFになると、液晶ディスプレイの“GUIDE”表示が消えます。



## ④ 盗聴電波の受信

無線式盗聴器の発信電波は、特定の周波数帯が使用されています。

本機は、無線式盗聴器に使用されているVHF・UHF帯のチャンネルをBANK [A] エリア①、②、④に登録されています。

BANK [A] エリア①：無線式盗聴器によく使用されている周波数

BANK [A] エリア②：無線式盗聴器に使用される全周波数

BANK [A] エリア④：ホテル等でよく使用される周波数

### 操作方法

#### ① 盗聴電波を受信します

盗聴電波の受信エリア（BANK [A] のエリア①、②、④）を呼び出し、オートサーチまたはマニュアルサーチします。

操作については、「ステップ1 ①受信エリア内をオートサーチする」(P14) または「ステップ1 ①受信エリア内をマニュアルサーチする」(P16) を参照してください。

#### ② 盗聴電波の強い方向を調べます

レベルメーターがよく振れる方向へ進みます。

#### ③ レベルメーターが振り切れたらアッテネータをONにします

レベルメーターが振り切れた場合は、**[ATT]**キーを押してアッテネータをONにしてください。

#### ④ 受信感度を落としながら、盗聴電波が強い方向を調べます

再びレベルメーターが振り切れた場合は、**[ATT]**キーを押して最低感度にしてください。

最低感度の状態でレベルメーターが振り切れた場合は、アンテナを外してください。

#### ⑤ 盗聴器に接近すると、ハウリングが起きます

盗聴器から数mの位置に近づくと、「ワーン」と大きなハウリング音が鳴ります。

#### ⑥ ハウリングが起きた場所の周辺をよく調べてみてください

### ちよつと言

本機は、VHF/UHF帯の無線を使用した盗聴器の発信電波を受信するものです。盗聴器はその性質上、発見が難しい場所や、「こんなものが」と思うものに設置されています。発見が難しい場合や、危険を伴うおそれがある場合は、専門の調査機関に依頼してください。

## ⑤オートスタート機能

オートサーチ時、受信中に一定時間経過するとサーチを再開します。  
選択できる時間は、2秒、6秒、10秒です。

### 操作方法

#### ① ファンクションモードに入ります

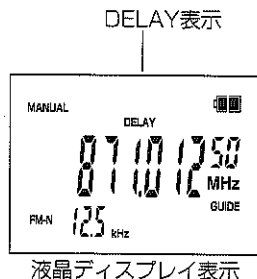
ファンクションモードに入るには、**[FUNC]**キーを押します。  
**[FUNC]**キーを押してから5秒間、ファンクションモードになります。  
ファンクションモード中は、“FUNC”マークが点滅します。

#### ② オートスタートの設定をします

オートスタートの設定をするには、ファンクションモード中に、**[テンキー]**の**①**キーを押します。

#### ③ オートスタート開始時間を設定します

開始時間は**[▲]****[▼]**キーで変更し、**[ENTER]**キーで決定します。  
オートスタートを設定すると、液晶ディスプレイの“DELAY”表示が点滅します。



液晶ディスプレイ表示

#### ④ オートサーチを開始します

オートスタートが設定されていると、受信中でも一定時間後に自動でサーチを再開します。

オートスタートを解除するには、受信エリアを変更するか、ファンクションモード中に**[テンキー]**の**①**キーを押します。

### 注意

チャンネルメモリではオートスタートが設定されません。

## ⑥バックライト点灯機能

**[LIGHT]**ボタンを押すと、液晶ディスプレイのバックライトが約10秒間点灯します。  
ファンクションモード中に**[LIGHT]**ボタンを押すと、点灯し続けます。  
再度、ファンクションモード中に**[LIGHT]**ボタンを押すと、消灯します。

## ⑦キートーンON/OFF機能

ファンクションモード中に**[テンキー]**の**③**キーを押すと、操作時のプザー音（キートーン）が消えます。  
解除するには、**[FUNC]**キーを押した後、**[テンキー]**の**③**キーを押してください。

## ⑧初期化機能

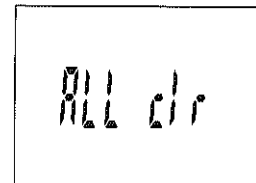
すべてのメモリ登録を消去し、工場出荷時の状態に戻すことができます。  
また、メモリごとに個別に消去することもできます。

### (1)全消去

#### 操作方法

#### ① 全消去モードに入ります

全消去モードに入るには、**[CLEAR]**キーを押したまま電源を入れます。  
全消去モードに入ると、“全消去します”と音声でお知らせし、液晶ディスプレイに“ALLclr”と表示されます。



全消去モード

#### ② **[ENTER]**キーを押し消去します

**[ENTER]**キーを押すと、“消去しました”と音声でお知らせし、登録が消去されます。

消去したくない場合は、**[CLEAR]**キーを押すか、約10秒間無操作が続くと全消去モードを終了します。

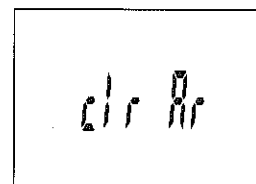
### (2)メモリバンク全消去

MEMO**[A]**~**[D]**を初期化します。

#### 操作方法

#### ① メモリバンク全消去モードに入ります

メモリバンク全消去モードに入るには、**[MEMO]**キーを押したまま電源を入れます。  
メモリバンク全消去モードに入ると、注意してください”と音声でお知らせし、液晶ディスプレイに“clrAr”と表示されます。



メモリバンク全消去モード

#### ② **[ENTER]**キーを押し消去します

**[ENTER]**キーを押すと、“消去しました”と音声でお知らせし、メモリバンクが消去されます。

消去したくない場合は、**[CLEAR]**キーを押すか、約10秒間無操作が続くとメモリバンク全消去モードを終了します。



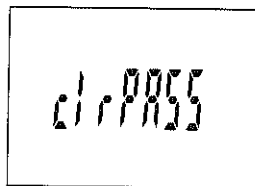
### (3) パスメモリ全消去

パスメモリを初期化します。

#### 操作方法

#### ① パスメモリ全消去モードに入ります

パスメモリ全消去モードに入るには、**[MODE・PASS]**キーを押したまま電源を入れます。パスメモリ全消去モードに入ると、“注意してください”と音声でお知らせし、液晶ディスプレイに“clrPASS”と表示されます。



パスメモリ  
全消去モード

#### ② **[ENTER]**キーを押し消去します

**[ENTER]**キーを押すと、“消去しました”と音声でお知らせし、パスメモリが消去されます。消去したくない場合は、**[CLEAR]**キーを押すか、約10秒間無操作が続くとパスメモリ全消去モードを終了します。

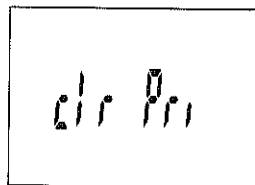
### (4) プライオリティ全消去

プライオリティチャンネルを初期化します。

#### 操作方法

#### ① プライオリティ全消去モードに入ります

プライオリティ全消去モードに入るには、**[PRO・PRI]**キーを押したまま電源を入れます。プライオリティ全消去モードに入ると、“注意してください”と音声でお知らせし、液晶ディスプレイに“clrPri”と表示されます。



プライオリティ  
全消去モード

#### ② **[ENTER]**キーを押し消去します

**[ENTER]**キーを押すと、“消去しました”と音声でお知らせし、プライオリティチャンネルが消去されます。消去したくない場合は、**[CLEAR]**キーを押すか、約10秒間無操作が続くとプライオリティ全消去モードを終了します。

## 7. 登録済み受信エリア

本機に登録されている受信エリアは以下の通りです

バンク	エリア No	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネル ステップ (kHz)	受信モード	ディレイ 時間 (秒)
A	1	盗聴電波9チャンネル	VHF帯・UHF帯	5	FM-N	6
	2	盗聴電波 全チャンネル	VHF帯・UHF帯	5	FM-N AM	6
	3	小電力コードレス電話	380.2125~381.3125	12.5	FM-N	6
	4	ホテルモード	VHF帯・UHF帯	5	FM-N	6
	5	パチンコ無線 ファーストフード店等の業 務無線	421.5750~422.3000 440.0250~440.3625 322.0250~322.4000	12.5 25	FM-N	6
	6	ギャンブル無線	54.8300~154.6100 348.5625~468.8125	10 12.5	FM-N	6
	7	レース無線 サーキット無線	423.0000~424.1750 154.6100 414.7500~468.8125	12.5 10 12.5	FM-N	6
	8	コンサートワッチ (ワイヤレスマイク)	322.0250~322.4000 779.1250~809.7500	25 125	FM-N FM-W	ホールド
	9	各種業務無線 簡易無線	148.7700~159.0500 348.5625~469.7500	10 12.5	FM-N	6
	0	タクシー無線	364.8250~453.3375	12.5	FM-N	6
B	1	カーロケーター無線	407.7250	12.5	FM-N	オート
	2	交通取締連絡無線	350.1000	12.5	FM-N	6
	3	警察VHF移動局 (パトカー無線)	159.2750~160.5750	25	FM-N	オート
	4	警察部隊活動系	162.0500~162.6000	25	FM-N	オート
	5	警察署活系移動局	347.7125~362.2500	12.5	FM-N	オート
	6	鉄道警察隊	349.1500	12.5	FM-N	オート
	7	ヘリコプター無線 (警察・消防・マスコミ)	122.3000~135.9500 340.7000~399.6500	25 12.5	AM FM-N	6
	8	レッカー無線	154.4700~154.6100 465.0375~468.8375	10 12.5	FM-N	6
	9	●モード	バンク①のエリア①~⑩	—	—	—
	0	道路公団・JAF・警備	148.7700~154.0300 367.3500~450.2375	10 12.5	FM-N	6

※ホールドとなっている受信エリアはディレイ時間が“HOLD”に設定してあります。  
※オートとなっている受信エリアはオートスタート2秒に設定してあります。

バンク	エリア No	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネル ステップ (kHz)	受信モード	ディレイ 時間 (秒)
C	1	AM放送	0.5310~1.6290	9	AM	ホールド
	2	FM-放送	76.1000~89.9000	100	FM-W	ホールド
	3	TV放送	95.7500~769.7500	-	FM-W	ホールド
		CATV	113.7500~467.7500			
	4	短波放送	5.9500~21.8250	5	AM	ホールド
	5	航空無線	118.0000~142.0000	50	AM	6
			225.0000~368.2000	100		
	6	航空無線電話 航空機公衆電話	830.0125~886.9875	12.5	FM-N	2
	7	マリンバンド・国際VHF	156.0250~163.2500	25	FM-N	6
			35.5400~39.9300	5	AM	
			157.9300~159.2300	10	FM-N	
		357.4125~467.6250	12.5			
	海上運送事業 海上移動業務用	151.3300~159.1700	10			
8	パーソナル無線	903.0375~904.9875	12.5	FM-N	6	
9	アマチュア無線	144.0000~146.0000	20	FM-N	6	
		430.0000~440.0000				
0	CB無線	26.5150~27.8550	5	AM	6	
	NASA無線	37.6750				

バンク	エリア No	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネル ステップ (kHz)	受信モード	ディレイ 時間 (秒)
D	1	バス・鉄道	59.8700~142.9200	10	FM-N	6
			143.8000~143.9800	20		
			146.1800~159.1700	10		
			336.0375~352.6250	12.5		
			352.6500~352.7500	25		
			364.3250~415.2000	12.5		
			26.4100~73.0950	5		
			146.0200~159.0900	10		
			364.5250~385.1500	12.5		
			電力・ガス・水道 (ライフライン)			
	2	MCA業務無線	850.0125~859.9875	12.5	FM-N	6
	3	報道連絡波	38.9600~168.8700	10	FM-N	6
			364.9500~469.9750	25		
			38.9900	10	FM-W	
			164.6100~166.1300			
	462.5600~467.7200	12.5	FM-N			
	特定小電力トランシーバー		421.5750~440.3625			
	4	防災行政無線 (50~70帯)	54.7700~74.4750	-	FM-N	6
		防災行政無線 (VHF/UHF)	143.2600~158.3500			
			364.7500~467.3750			
	5	防災行政無線 (800帯)	846.2500~902.8000	12.5	FM-N	6
	6	消防・救急 (北海道地区)	146.8000~158.3500	10	FM-N	6
		消防電話・消防ヘリ	341.4500~399.6500	12.5		
		消防署活系	466.4375~466.5500			
	7	消防・救急 (東北・北陸地区)	143.5000~158.3500	10	FM-N	6
		消防電話・消防ヘリ	364.7500~466.1625	12.5		
		消防署活系	341.4500~399.6500			
	8	消防・救急 (関東・東海地区)	146.0400~158.3500	10	FM-N	6
			消防電話・消防ヘリ	341.4500~399.6500		
			消防署活系	466.3500~466.5500		
			新救急無線 (移動局)	371.1750~371.4125		
			東京消防庁 (基地局)	395.2750~395.5125		
	9	消防・救急 (中部・近畿地方)	143.4000~158.3500	10	FM-N	6
消防電話・消防ヘリ			364.7500~365.1500			
消防署活系			341.4500~399.6500			
0	消防・救急 (中国・四国・九州地区)	142.3000~158.3500	10	FM-N	6	
		365.1500	12.5			
		消防電話・消防ヘリ				341.4500~399.6500
		消防署活系	466.3500~466.5500			

## 8. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない (画面表示しない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池が消耗している →新しい電池に交換してください (P.10)</li> <li>●電源プラグが奥まで入っていない</li> <li>●外部電源がきていない</li> </ul>
受信しない (音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量が低い →音量ボリュームで調節してください</li> <li>●イヤホンが接続されている →イヤホンを抜いてください</li> </ul>
音声途切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スケルチボリュームが右回りに回りすぎている →左回りに回してください</li> <li>●電波が弱い</li> <li>●アッテネータがONになっている →アッテネータをOFFにしてください (P.23)</li> <li>●プライオリティ受信をしている →プライオリティ受信を解除してください (P.37)</li> </ul>
受信音声がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信モードがあていない →受信モードを切り替えてください (P.19)</li> <li>●秘話解読機能がONになっている →秘話解読機能をOFFにしてください (P.22)</li> </ul>
おかしな信号音を受信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●制御チャンネル信号やデジタル通信を受信している →音声での受信はできません</li> </ul>
サーチしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スケルチボリュームが左回りに回りすぎている →右回りに回してください</li> </ul>

## 9. 主な仕様

- 電源電圧……………DC6.0V 単3形乾電池4本  
DC12V 外部電源
- 受信周波数……………0.1MHz~1300MHz
- 受信電波形式……………AM/FMナロー /FMワイド
- 周波数ステップ……………5/6.25/9/10/12.5/20/25/50/100/125kHz
- メモリ数……………チャンネルメモリ 最大1200チャンネル  
エリアメモリ 最大30エリア  
パスメモリ 最大200チャンネル  
プライオリティ 最大10チャンネル
- アンテナインピーダンス…50Ω
- 受信感度……………AM 1.0μV S/N 10dB  
FM 1.5μV 12dB SINAD
- 動作温度範囲……………-10℃ ~+60℃
- 外形寸法……………68 (W) ×39 (D) ×150 (H) mm
- 重量……………210g  
※乾電池含まず

## ●保証規定

1. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、公害、その他天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
  - (ニ) 保証書のご提示がない場合。
  - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。  
保証書（本書に刷り込まれています）は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

### ■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店にご相談ください。  
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

### ●あらかじめご承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。  
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめ承知ください。

### ●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス                      フリーダイヤル    0120-08-1114  
携帯電話よりおかけの方は    TEL                      045-251-2687